

# 2009年8月期第3四半期業績 及び業績見通し

**徳永 敏久**  
株式会社ファーストリテイリング  
経営管理部長

1

経営管理部長の徳永です。

2009年8月期第3四半期業績、及び  
通期の業績見通しについてご説明します。

I. 第3四半期決算概要	P3	~	P20
II. 2009年8月期業績予想	P21	~	P27
III. ご参考資料	P28		

**【資料文中のグループ事業の表示について】**

各グループ事業の構成は、以下のとおりです。

国内ユニクロ事業：株式会社ユニクロの数値が表示されています。

海外ユニクロ事業：中国、香港、韓国、シンガポール、英国、米国、フランスにおけるユニクロ事業が含まれています。

国内関連事業：国内を中心に展開しているアパレル小売事業(ユニクロ事業除く)のことです。

GOVリテイリング、キャビンが含まれています。

グローバルブランド事業：グローバルに展開中、もしくは展開する可能性のあるブランド事業(ユニクロ事業除く)です。

コントワー・デ・コトニエ事業、プリンセス タム・タム事業、リンク・セオリー・ホールディングス

(2009年8月期第2四半期までは持分法適用関連会社、2009年8月期第3四半期からは

連結子会社)が含まれています。

**【将来予測に関するご注意】**

本資料に掲載されている業績予想、計画、目標数値などのうち、歴史的事実でないものは、作成時点で入手可能な情報に基づき作成した将来情報です。実際の業績は、経済環境、市場の需要・価格競争に対する対応、為替などの変動により、この業績予想、計画、目標数値と大きく異なる場合があります。



# 【連結】2009年8月期 第3四半期実績(累計)

1Q~3Q  
9ヶ月累計

売上高 : 5,370億円 (前年同期比 +17.2%)  
 営業利益 : 971億円 (前年同期比 +28.3%)  
 経常利益 : 915億円 (前年同期比 +22.4%)

単位: 億円

	1Q ~ 3Q (08/9 ~ 09/5)			3Q (09/3 ~ 09/5)		
	実績	前年実績	前年同期比	実績	前年実績	前年同期比
売上高 (売上比)	5,370 100.0%	4,581 100.0%	+ 17.2% (+ 0.0p)	1,796 100.0%	1,417 100.0%	+ 26.7% (+ 0.0p)
売上総利益 (売上比)	2,695 50.2%	2,304 50.3%	+ 17.0% ( 0.1p)	915 51.0%	735 51.9%	+ 24.5% ( 0.9p)
販管費 (売上比)	1,723 32.1%	1,546 33.8%	+ 11.5% ( 1.7p)	641 35.7%	520 36.7%	+ 23.4% ( 1.0p)
営業利益 (売上比)	971 18.1%	757 16.5%	+ 28.3% (+ 1.6p)	273 15.2%	215 15.2%	+ 27.1% (+ 0.0p)
経常利益 (売上比)	915 17.0%	748 16.3%	+ 22.4% (+ 0.7p)	283 15.8%	213 15.1%	+ 32.9% (+ 0.7p)
当期純利益 (売上比)	496 9.3%	400 8.7%	+ 24.0% (+ 0.6p)	141 7.9%	114 8.1%	+ 23.6% ( 0.2p)

2009年8月期第3四半期実績(累計): のれん償却額 43 億円

2008年8月期第3四半期実績(累計): のれん償却額 41 億円

3

まず、2009年8月期 第3四半期累計連結業績についてご説明します。

売上高は5,370億円、前年同期比17.2%増、  
 営業利益は971億円、前年同期比28.3%増、  
 経常利益は915億円、前年同期比22.4%増、  
 増収増益を達成致しました。



## 【連結】第3四半期(累計) 増収増益の要因

売上高 5,370億円 (前年同期比 +17.2%)

国内ユニクロ事業 +683億円

海外ユニクロ事業 +53億円

国内関連事業 +20億円

グローバルブランド事業 +23億円

売上高総利益率 50.2% (前年同期比 0.1p)

売上高販管費率 32.1% (前年同期比 1.7p)

国内ユニクロ事業での改善 2.5p

営業利益率 18.1% (前年同期比 +1.6p)

経常利益率 17.0% (前年同期比 +0.7p)

円高による為替差損の発生 43億円

持分法投資損失 13億円

4

まず売上高ですが、5,370億円、前年同期比789億円増、17.2%の増収でした。

主な増収の要因は、好調な国内ユニクロ事業が683億円の増収になったことです。これに加え、海外ユニクロ事業が53億円の増収となったこと、国内関連事業はジーユー事業の増収と、ビューカンパニーの連結子会社化により、20億円の増収となりました。

また、グローバルブランド事業ではこの第3四半期からリンク・セオリー・ホールディングスを連結子会社化したことなどから、23億円の増収となっております。

売上高総利益率は、前年同期比0.1ポイント低下いたしました。

販管費は、前年同期比で177億円増えておりますが、販管費率は1.7ポイント改善しております。これは、売上が好調であった国内ユニクロ事業において販管費率が2.5ポイント改善したことが主な要因です。

これらの結果、営業利益は971億円、前年同期比28.3%の増益となり、売上高営業利益率は18.1%と前年同期比で1.6ポイント改善いたしました。

なお、経常利益につきましては、915億円、前年同期比22.4%増、経常利益率は17.0%と、前年同期比で0.7ポイントの改善にとどまっております。

これは、海外子会社向け貸付金にかかる評価差損などで為替差損が43億円発生したこと、この上期に計上したリンク・セオリー・ホールディングスに関連する持分法投資損失13億円によります。

## 第3四半期 グループ事業別実績

単位：億円

		1Q～3Q (08/9～09/5)			3Q (09/3～09/5)		
		実績	前年実績	前年同期比	実績	前年実績	前年同期比
国内ユニクロ事業	売上高	4,326	3,643	+ 18.8%	1,364	1,110	+ 22.8%
	営業損益	964	717	+ 34.5%	276	211	+ 30.6%
	(売上比)	22.3%	19.7%	+ 2.6p	20.3%	19.1%	+ 1.2p
海外ユニクロ事業	売上高	281	227	+ 23.5%	94	69	+ 36.2%
	営業損益	18	8	+ 125.7%	2	0	-
	(売上比)	6.7%	3.7%	+ 3.0p	2.9%	-	-
国内関連事業	売上高	388	368	+ 5.6%	144	140	+ 2.8%
	営業損益	5	11	-	6	0	-
	(売上比)	-	-	-	4.3%	-	-
グローバルブランド事業	売上高	355	332	+ 6.9%	186	91	+ 102.6%
	営業損益	31	67	52.9%	7	15	53.4%
	(売上比)	9.0%	20.4%	11.4p	3.8%	16.6%	12.8p

適用為替レート

2009年8月期第3四半期(9ヶ月平均) 1USD= 96.50円 1EUR=128.92円 1GBP=148.03円 100KRW= 7.2円

2008年8月期第3四半期(9ヶ月平均) 1USD=108.42円 1EUR=162.16円 1GBP=217.90円 100KRW=11.4円

5

こちらの頁では、各グループ事業別の売上高、営業損益を示しております。詳しくは次の頁以降でご説明いたします。

### 売上・利益とも計画達成し増収増益

3Q 売上高 : 1,364億円 (前年同期比 +22.8%)  
 (3~5月) 売上総利益 : 665億円 (前年同期比+19.0%)  
 営業利益 : 276億円 (前年同期比 +30.6%)

単位: 億円

	1Q~3Q (08/9~09/5)			3Q (09/3~09/5)		
	実績	前年実績	前年同期比	実績	前年実績	前年同期比
売上高 (売上比)	4,326 100.0%	3,643 100.0%	+ 18.8%	1,364 100.0%	1,110 100.0%	+ 22.8%
売上総利益 (売上比)	2,102 48.6%	1,765 48.5%	+ 19.1% ( + 0.1p)	665 48.8%	559 50.3%	+ 19.0% ( - 1.5p)
販管費 (売上比)	1,137 26.3%	1,048 28.8%	+ 8.6% ( - 2.5p)	388 28.5%	347 31.2%	+ 12.0% ( - 2.7p)
営業利益 (売上比)	964 22.3%	717 19.7%	+ 34.5% ( + 2.6p)	276 20.3%	211 19.1%	+ 30.6% ( + 1.2p)

6

国内ユニクロ事業について、詳しくご説明いたします。

第3四半期3ヶ月間の国内ユニクロ事業の売上高は1,364億円、前年同期比22.8%増、営業利益は276億円、前年同期比30.6%増の増収増益となりました。

第3四半期の売上高は好調に推移し、4月9日に発表した計画に対して約150億円上回っております。

粗利益率については、昨年に比べて1.5ポイント低下し48.8%となっております。営業利益は276億円と大幅増益となり、計画に対して約60億円上回る水準となりました。

項目ごとの説明につきましては、次のスライドでさせていただきます。

## 【国内ユニクロ事業】売上高の状況

**3Q(3~5月) 売上高 1,364億円 (前年同期比 +22.8%)**

第3四半期(3月~5月)

既存店売上高 +15.4% (客数 +15.3%、客単価 +0.0%)

客数増の背景      キャンペーンによる集客効果  
                                  コア商品(ベーシック商品)の強化  
                                  ウィメンズ商品の強化

ユニクロ直営店 前年同期末比 16店舗増 (2009年5月末 757店舗 )

新宿西口店など新店の売上高は好調に推移

既 存 店 前年比増減率	2009年8月期					
	2Q累計	3月	4月	5月	3Q 計	6月
売上高	+12.9%	+7.9%	+19.2%	+18.3%	+15.4%	+6.4%
客 数	+9.2%	+8.7%	+17.6%	+18.7%	+15.3%	+9.5%
客単価	+3.4%	0.7%	+1.3%	0.3%	+0.0%	2.8%

FC店 20店舗を除く

7

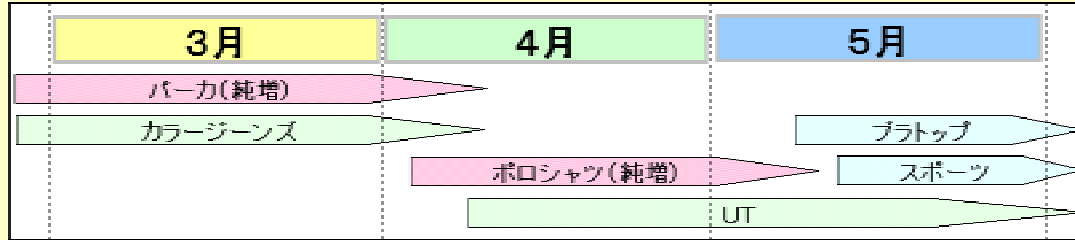
まず売上高22.8%増の要因ですが、既存店売上高が15.4%増となったこと、直営店が前年同期末比で16店舗増加したことによります。4月にオープンした新宿西口店を始め、新店の売上高は好調に推移しております。

なお、既存店売上高が大きく伸びたのは、客数が15.3%増となったことが要因です。

客数増の要因としては、キャンペーンを昨年に比べて2回増やしたことによる集客効果、コア商品の強化に努めたこと、ウィメンズ商品の強化によるものです。

## キャンペーンによる集客効果

昨年対比でキャンペーンを2回増やしたことによる集客増



## コア商品(ベーシック商品)の強化

コア商品の店頭在庫を増やし、機会ロスの最小化

ブラウス、サラファインインナーなどの人気商品を増産

## ウィメンズ商品の強化

東京ガールズコレクションにソフトテラードジャケットを出品

ブラウス、チュニック、スカートなどウィメンズファッション商品が好調

8

まず、キャンペーンによる集客効果ですが、

第3四半期では、カラーデニム、パーカ、ポロシャツ、UT、ブラウス、スポーツと6回のキャンペーンを展開いたしました。

このうち今年新たに展開したのは、パーカ、ポロシャツであり、集客につながったものと考えております。

次に、コア商品の強化があげられます。

秋冬シーズンに続き、春夏シーズンでも、フライスTシャツやポロシャツなどの

コア商品の店頭在庫を増やすことで、販売機会ロスの最小化に努めました。

また、この第3四半期では、ブラウスやサラファインインナーなどの人気の商品を増産したことが増収に寄与しました。

3つめの要因として、ウィメンズ商品の強化があります。

春夏商品では、ガールズコレクションの第一弾として、3月に開催された東京ガールズコレクションに参加し、コラボ商品としてソフトテラードジャケットを出品し、話題となりました。

このほか、押切もえさんを起用し、ガールズコレクションの第二弾としてマドラスチェックのブラウス、チュニック、第三弾としてサマースカートを展開したことで、ウィメンズファッション商品の売上が好調でした。



## 生産数量の拡大

昨年の約3倍(昨年の数量:約300万点)を準備  
欠品による販売機会ロスを減少

## 販売の早期開始

チラシ掲載開始による本格販売開始時期  
今年:2月第1週 ( 昨年:3月第2週 )

## 商品ラインナップの充実

アイテム数 昨年:11型 今年:20型  
カラー展開 昨年:1~7色 今年:2~14色



ブラキャミソール

ブラトップが昨年に比べ拡大した要因についてご説明します。

まず、生産数量を大幅に増やしたことがあげられます。

昨年は約300万点を販売いたしましたが、今年はその約3倍の販売数量を予定しております。

在庫をしっかりと持つことで、欠品による販売機会ロスを減少させることができたと考えております。

次に、販売の早期化を実施しております。

今年にはブラトップをチラシに掲載し本格的に展開したのは、2月第1週からと、昨年の3月第2週に比べて展開時期を早めております。

また、ブラトップとしての商品ラインナップを充実しております。

具体的には、アイテム数を昨年の11型から20型まで拡大し、カラー展開についても最大14色のカラー数まで拡大するなどラインナップの拡大をしております。

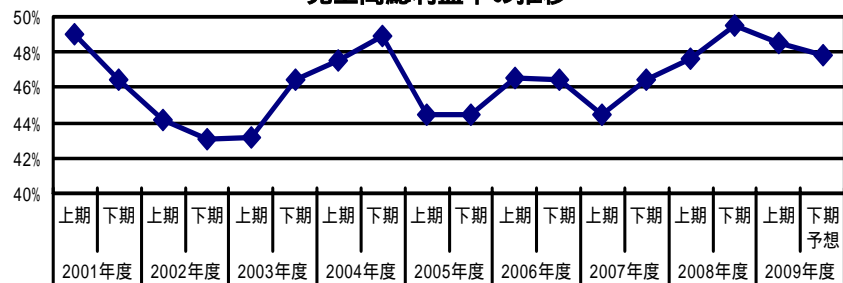
3Q(3~5月) 売上高総利益率 48.8% (前年同期比 1.5p)

## 販促活動を強化

人気商品の限定販売回数を増やした

キャンペーンを増やしたことで限定販売対象商品も増加

売上高総利益率の推移



第3四半期の売上高総利益率は48.8%と、前年同期比で1.5ポイント低下いたしました。

値引き販売のコントロールは引き続き継続いたしましたが、厳しい消費環境に対応すべく、販促活動を強化したことが前年比で低下した要因です。

人気のコア商品について限定販売の回数を増やしたこと、また、去年に比べてキャンペーンが2回増えたことにより、限定販売対象商品も増加しております。

ただし、第3四半期の粗利益率につきましては、計画通りの水準となっております。

3Q(3~5月) 売上高販管費率 28.5% (前年同期比 2.7p)

**人件費率** 1.4ポイント

売上好調により大幅改善

持株会社(FR)への業務移管に伴う影響 0.2ポイント(委託費に含む)

**広告宣伝費率** 0.1ポイント

売上が計画を上回ったため効率改善

**賃借料率** 0.8ポイント

固定家賃店舗で効率改善

国内ユニクロ事業の販管費は増収に伴い、前年同期比で40億円増加していますが、売上高販管費率では2.7ポイント改善しています。

まず人件費率ですが、売上好調により前年に比べ1.4ポイント改善しております。このうち、持株会社への業務移管に伴う影響で、人件費率が0.2ポイント減少しております。こちらの費用は、委託費に含まれております。

広告宣伝費率も0.1ポイント改善しております。これも、売上高が計画を上回った影響で効率が改善したものです。

賃借料率も0.8ポイント改善しております。店舗数の6割を占めるロードサイド店の大半は固定家賃であるため、売上好調であったことにより効率が改善しております。

## 【海外ユニクロ事業】第3四半期実績

### 3Q(3~5月) 計画通りに進捗、黒字幅拡大

**アジア 順調に拡大**(店舗数 08/8末 39店舗 09/5末 62店舗)  
**中国・香港** 中国ではユニクロの知名度アップに伴い既存店売上は好調  
 香港では景気悪化の影響を受け3Qでは若干の計画未達  
**韓国** 売上は順調、利益はほぼ計画通り  
**シンガポール** 1号店オープン、予想を大幅に上回る売上を達成  
**欧米 英国の赤字幅縮小**(店舗数 08/8末 15店舗 09/5末 16店舗)  
**英国** ブランド認知度向上により既存店売上が好調、赤字幅縮小  
**米国** 増収で計画通りの業績  
**フランス** 旗艦店準備コストで赤字

		1Q~3Q (08/9~09/5)			3Q (09/3~09/5)		
		実績	前年実績	前年同期比	実績	前年実績	前年同期比
海外ユニクロ事業	売上高	281	227	+23.5%	94	69	+36.2%
	営業利益	18	8	+125.7%	2	0	-
	(売上比)	6.7%	3.7%	+3.0p	2.9%	-	-

単位: 億円

12

次に海外ユニクロ事業ですが、

売上高は94億円と前年同期に比べ36.2%増、営業利益は2億円とほぼ計画通りに推移しております。

英国の赤字幅の縮小と、アジア地区での業績拡大が、黒字化の最大要因となっております。

中国では、ユニクロの知名度がアップしたことに伴い、既存店売上高は好調に推移しております。一方、香港では、景気悪化の影響を受け、この第3四半期では若干の計画未達となっております。

韓国は売上は順調で、利益もほぼ計画通りの水準となっております。

シンガポール市場では1号店を4月9日にオープンし、予想を大幅に上回る売上高を達成しております。

米国はグローバル旗艦店のみの展開ですが、増収が続いており、計画通りの業績となっております。

英国ではブランド認知度が向上したことにより、既存店売上高が好調で、赤字幅は縮小しております。

フランスでは旗艦店準備コストが発生しており、赤字となっております。

## 計画比200%超の水準で推移

日本のカジュアルブランドとしての高い認知度  
 品質と価格のバランスに敏感なお客様からユニクロの定番商品が支持を得られた  
 インパクトの強い新聞広告によりUT、デニムなどのキャンペーン商品を訴求  
 デザイン性の高いポロシャツやキャミソールなども好調



ユニクロ タンパニース ワン店 4月下旬撮影

### シンガポール1号店「ユニクロ タンパニース ワン店」

- 4月9日 オープン
- 新商業施設「タンパニース ワン」内
- 売場面積 210坪

### シンガポール2号店「アイオン店」(仮称)

- 8月7日 オープン(予定)
- 中心地区のオーチャード通り
- 売場面積 230坪(予定)

次に、新規進出したシンガポールでの状況についてご説明します。

4月9日、シンガポール東部の新商業施設に「ユニクロ タンパニース ワン店」をオープンし、売上は当初計画に対して200%を超える水準が続いております。

この成功の要因としては、まず、ユニクロがシンガポール市場で「日本のカジュアルブランド」として高い認知度を得ていたことがあげられます。

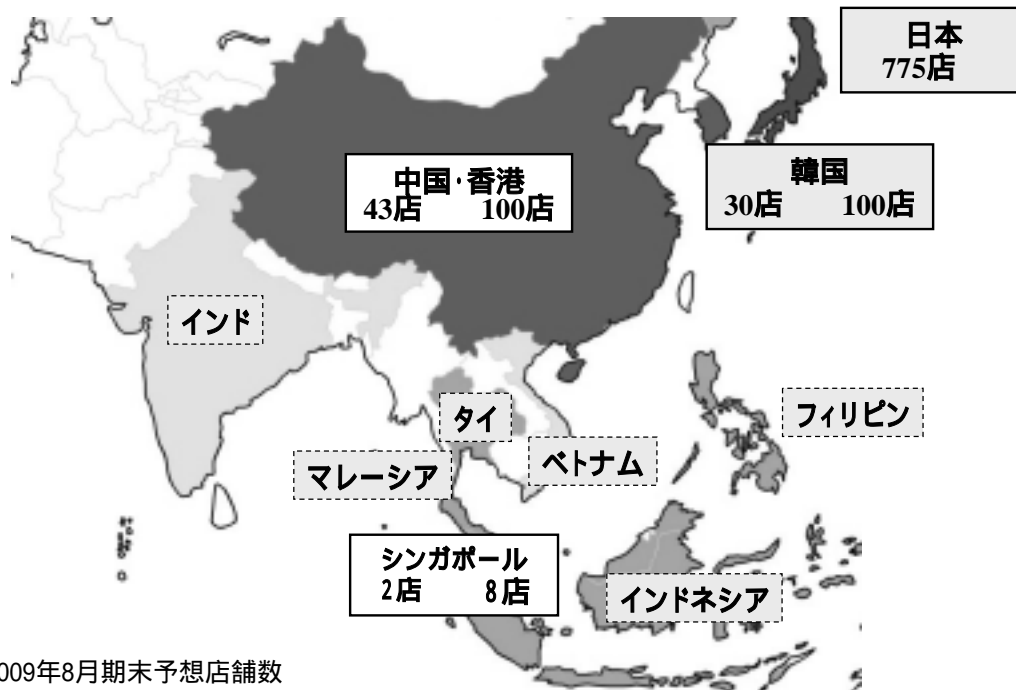
また、品質と価格のバランスに敏感なシンガポールのお客様から、ユニクロのバリュー感のある定番商品が支持を得たこと、

インパクトの強い新聞広告により、UT、デニムといったキャンペーン商品が好調に販売できたことも要因だと考えております。

デザイン性の高いポロシャツや、キャミソールなども好調な売れ行きとなっております。

1号店に引き続き、2号店をシンガポール中心地区のオーチャード通りに8月7日にオープン予定です。

## シンガポールを拠点に東南アジア諸国に出店検討を開始



シンガポールの成功を受けて、近隣の国々、例えば、タイ、インドネシア、マレーシア、フィリピン、インド、ベトナム、オーストラリアなどへ進出の検討を開始しております。

アジア市場では、今後数年間で中国・香港で100店舗、韓国で100店舗、それ以外のアジア地区で100店舗の店舗網を確立させたいと考えています。

特に、中国・香港エリアで継続的に年間100店舗の出店が可能な体制の構築をめざしています。

数年以内に「アジア市場で圧倒的なNo.1になる」ことを目標に、

アジアでの展開ペースを速めていく計画です。

ユニクロのブランド認知度が高いアジアでは、1店舗当りの売上高も高く、収益性が伴った拡大が期待されます。

## 【国内関連事業】第3四半期実績

3Q (3~5月) ジューン事業が好調、採算は改善

### GOVリテイリング ジューン事業好調

ジューン事業 3月10日「990円ジーンズ」発売以来、売上好調  
3Qの既存店売上高は大幅な増収

フットパーク事業 売上未達、事業の縮小を決定

ビュー事業 売上・利益とも計画未達だが、若干の黒字

キャビン 業績はほぼ計画通り

単位: 億円

		1Q~3Q (08/9~09/5)			3Q (09/3~09/5)		
		実績	前年実績	前年同期比	実績	前年実績	前年同期比
国内関連事業	売上高	388	368	+5.6%	144	140	+2.8%
	営業損益	5	11	-	6	0	-
	(売上比)	-	-	-	4.3%	-	-

15

第3四半期3ヶ月間の国内関連事業は、ジューン事業が好調だったことから、営業利益は6億円と採算が大幅に改善しております。

ジューン事業は3月に「990円ジーンズ」を発売以降、売上は大幅に拡大し、その後も「990円ポロシャツ」、「990円ハーフパンツ」、「490円Tシャツ」などの低価格商品を次々と切れ目なく展開したことで、第3四半期3ヶ月間の既存店売上高は大幅な増収となりました。また、採算も大幅に改善することができております。

一方、フットパーク事業は、引き続き売上未達が続いており、事業の縮小を決定いたしました。詳細につきましては、後ほどご説明いたします。

ビュー事業については、売上、利益とも若干の計画未達となっておりますが、黒字を確保しております。

なお、キャビンは既存店売上高の前年割れが続いておりますが、この第3四半期ではほぼ計画通りの業績となっております。

### フットパーク事業の縮小を決定

#### 2010年1月末までにフットパーク約200店舗を閉店

2009年8月期末 191店舗まで縮小 (当期での閉店107店舗)  
2010年1月末 約10店舗まで縮小

#### 閉店に伴う特別損失は3Qに計上済み

2009年8月期予想 閉店に伴う特別損失 25億円  
2010年8月期予想 同上 0円

#### 閉店セール

7月から閉店セール。来期のフットパーク事業の赤字幅は縮小の見込み

FRグループとして、ビュー事業を含め、新しい靴事業の構築について検討中

16

今般、苦戦が続くフットパーク事業については事業の縮小を決定いたしました。具体的には、2010年1月末までにフットパーク10店舗ほどを残し、約200店舗の閉店をする予定です。

この閉店に伴う特別損失約25億円は、すべてこの第3四半期に計上済みです。

閉店セールは7月から開始し、来期はセールによる粗利益率低下が予想されますが、フットパーク事業の赤字幅は縮小する見込みです。

尚、グループとして、ビュー事業を含め、新しい靴事業の構築を検討中です。

ファーストリテイリンググループとして、どのような靴事業を展開するべきか検討しております。こちらの内容につきましては、方針が決定次第お知らせしたいと考えております。





## 【グローバルブランド事業】第3四半期実績

3Q (3~5月) ほぼ計画通りの減益、リンク社を連結開始  
 コントワー・デ・コトニエ事業 既存店売上高はマイナス続く  
 プリンセス タム・タム事業 卸売販売の不振継続により減益  
 セオリー事業 連結を開始 売上高 117億円、営業利益 3億円

単位: 億円

		1Q~3Q (08/9~09/5)			3Q (09/3~09/5)		
		実績	前年実績	前年同期比	実績	前年実績	前年同期比
グローバルブランド事業	売上高	355	332	+6.9%	186	91	+102.6%
	営業損益	31	67	52.9%	7	15	53.4%
	(売上比)	9.0%	20.4%	11.4p	3.8%	16.6%	12.8p

プリンセス タム・タム事業の2008年8月期第3四半期累計実績には、決算期変更により、2007年7~8月の売上高約27億円、営業利益約6億円が含まれています。  
 セオリー事業の売上高の連結に際し、リンク・セオリー・ホールディングスの売上高の控除項目である 17百貨店に対する歩率家賃を売上高に足し戻し、同額を賃借料として計上しております。

第3四半期3ヶ月間のグローバルブランド事業につきましては、ほぼ計画通りに推移しております。なお、第3四半期よりリンク・セオリー・ホールディングスを連結しております。

リンク社を除いたグローバルブランド事業の第3四半期3ヶ月間の業績は、円ベースでは為替の影響で2割減収、8割減益となっております。ただ、こちらはユーロベースでは若干の減収となっており、これはほぼ計画通りの水準です。

コントワー・デ・コトニエ事業は、カットソー、パンツなどが好調で、客数は前年比でも増加しているものの、客単価の減少により、既存店の売上高は前年比でマイナスが続いております。

プリンセス タム・タム事業につきましては、既存店売上高はセールがあった4月など前年比でプラスとなる月もありましたが、卸売販売の不振が続き、減益となっております。

また、この第3四半期から業績を連結したセオリー事業は、売上高117億円、営業利益3億円を計上しております。

セオリー事業の売上高の連結に際し、リンク社の売上高の控除項目である百貨店に対する歩率家賃14億円を売上高として、同額を賃借料として計上しております。

### 特別損失 34億円

**事業整理損失引当金繰入額** 21億円

全額がフットパーク事業の閉店に伴うもの

**固定資産除却損** 4億円

(国内ユニクロ、セオリー、キャビン、フットパーク事業など)

**店舗閉店損失** 4億円

(国内ユニクロ、英国ユニクロ、フットパーク事業など)

2009年8月期第3四半期累計の特別損失は全体で34億円計上しております。

特別損失の主な内訳は、フットパーク事業の整理に伴う、事業整理損失引当金繰入額で21億円、国内ユニクロ事業やセオリー事業、キャビン事業、フットパーク事業などにおいて計上した固定資産除却損4億円、国内ユニクロ事業、英国ユニクロ、フットパーク事業などにおいて計上した店舗閉店損失4億円となどです。

## 【連結】2009年5月末 B/S

単位：億円

	2008年8月末	2009年5月末	増 減
総資産	4,047	4,756	+709
流動資産	2,636	3,047	+410
固定資産	1,410	1,708	+298
負債	1,407	2,074	+667
純資産	2,640	2,681	+41

19

2009年5月末の連結バランスシートのご説明をさせていただきます。

2008年8月末との比較では、  
流動資産が410億円増加し、固定資産が298億円増加した結果、  
全体の総資産は709億円増加して4,756億円となりました。

詳細については、次の頁でご説明いたします。



## 【連結】B/Sのポイント (2008年8月末比較)

**現金・預金及び有価証券の増加 +125億円 (1,701億円 1,827億円)**

【国内ユニクロ事業】 営業キャッシュフローによる増加

**たな卸資産の増加 +97億円 (537億円 634億円)**

【国内ユニクロ事業】 5月末残高 415億 (08/8月末比) +52億円

(前年同期比) +47億円 コア商品の店頭在庫積み増し、店舗数増加

**有形固定資産の増加 +62億円 (403億円 465億円)**

リンク社新規連結に伴う影響 +44億円 リース資産計上の影響 +19億円

**有利子負債の増加 +138億円 (200億円 338億円)**

リンク社新規連結に伴う影響 +178億円

**為替予約勘定(資産)の減少 411億円 (資産66億円 負債345億円)**

【国内ユニクロ事業】 円高の進行に伴うもの。損益への影響は無し

流動資産ですが、現預金及び有価証券の合計額は1,827億円と、前期末比で125億円増加いたしました。これは、国内ユニクロ事業の営業キャッシュフローの増加によるものです。

たな卸資産は634億円と、前期末比では97億円増加しております。国内ユニクロ事業の5月末の在庫は415億円と2008年8月末比では52億円増加しております。また、前年同期末比でも47億円の増となっております。これは、コア商品を中心に店頭在庫を積み増したことで、店舗数が大型店を中心に前年同期末比で16店舗増加したことによります。

有形固定資産は、前期末比で62億円増加しております。リンク社の新規連結に伴う影響が44億円、リースに係る会計基準が変更されたことによる影響などで19億円となっております。また、為替が前期末に比べて円高に推移していることから、海外子会社の固定資産が若干減少しております。

有利子負債については138億円増えておりますが、これは主にリンク社の新規連結に伴う影響です。

なお、為替予約勘定が前期末比411億円減少しております。これは円高の進行に伴うもので、ヘッジ会計を適用していることから損益への影響はございません。

## 売上高、利益ともに増額修正

	2008年 8月期実績	2009年8月期		2009年8月期		
		直近予想 (4/9時点)	前期比	修正予想 (7/9時点)	前期比	直近予想比
<b>売上高</b> (売上比)	5,864 100.0%	<b>6,600</b> 100.0%	+ 12.5%	<b>6,820</b> 100.0%	+ 16.3%	+ 3.3%
<b>売上総利益</b> (売上比)	2,936 50.1%	<b>3,295</b> 49.9%	+ 12.2% ( 0.2p)	<b>3,400</b> 49.9%	+ 15.8% ( 0.2p)	+ 3.2% ( 0.1p)
<b>販管費</b> (売上比)	2,061 35.2%	<b>2,285</b> 34.6%	+ 10.8% ( 0.5p)	<b>2,320</b> 34.0%	+ 12.5% ( 1.1p)	+ 1.5% ( 0.6p)
<b>営業利益</b> (売上比)	874 14.9%	<b>1,010</b> 15.3%	+ 15.4% ( + 0.4p)	<b>1,080</b> 15.8%	+ 23.4% ( + 0.9p)	+ 6.9% ( + 0.5p)
<b>経常利益</b> (売上比)	856 14.6%	<b>950</b> 14.4%	+ 10.9% ( 0.2p)	<b>1,010</b> 14.8%	+ 17.9% ( + 0.2p)	+ 6.3% ( + 0.4p)
<b>特別損益</b> (売上比)	37 0.6%	<b>14</b> 0.2%	- ( + 0.4p)	<b>45</b> 0.7%	- ( 0.0p)	- ( 0.4p)
<b>当期純利益</b> (売上比)	435 7.4%	<b>500</b> 7.6%	+ 14.9% ( + 0.2p)	<b>520</b> 7.6%	+ 19.5% ( + 0.2p)	+ 4.0% ( + 0.0p)

単位：億円

2009年8月期予想：設備投資額 220億円、減価償却費 100億円  
2008年8月期実績：設備投資額 210億円、減価償却費 85億円

21

ここからは、2009年8月期の業績予想についてご説明します。

連結の通期売上高は、4月9日に予想した6,600億円から6,820億円へ、  
営業利益は1,010億円から1,080億円へと修正いたします。

特別損失は、先ほどご説明したとおり、フットパーク事業の閉店を決定したことなどから直  
近予想の14億円から、45億円と修正いたします。

その結果、当期利益は500億円から520億円へと修正いたします。

## 売上高170億円、営業利益70億円増額修正

単位：億円

	2008年8月期 通期実績	2009年8月期		2009年8月期		
		直近予想 (4/9時点)	前期比	修正予想 (7/9時点)	前期比	直近予想比
<b>売上高</b> (売上比)	4,623 100.0%	5,210 100.0%	+ 12.7%	5,380 100.0%	+ 16.4%	+ 3.3%
<b>売上総利益</b> (売上比)	2,241 48.5%	2,517 48.3%	+ 12.3% ( - 0.2p)	2,595 48.2%	+ 15.8% ( - 0.3p)	+ 3.1% ( - 0.1p)
<b>販管費</b> (売上比)	1,376 29.8%	1,467 28.2%	+ 6.5% ( - 1.6p)	1,475 27.4%	+ 7.1% ( - 2.4p)	+ 0.5% ( - 0.7p)
<b>営業利益</b> (売上比)	864 18.7%	1,050 20.2%	+ 21.5% ( + 1.5p)	1,120 20.8%	+ 29.6% ( + 2.1p)	+ 6.7% ( + 0.6p)

22

国内ユニクロ事業の通期の業績予想は、売上高で170億円、営業利益で70億円を増額修正し、売上高5,380億円、営業利益1,120億円といたします。

	2008年8月期 通期実績	2009年8月期			
		直近予想 (4/9時点)	修正予想 (7/9時点)	前期比	直近予想比
売上高	4,623 億円	5,210 億円	5,380 億円	+16.4%	+3.3%
既存店伸び率(通期)	+2.9%	+8.2%	+11.3%	+8.4p	+3.1p
上期(実績)	+1.5%	+12.9%	+12.9%	+11.4p	-
下期(予想)	+4.8%	+2.3%	+9.3%	+4.5p	+7.0p
売上高総利益率(通期)	48.5%	48.3%	48.2%	0.3p	0.1p
上期(実績)	47.6%	48.5%	48.5%	+0.9p	-
下期(予想)	49.5%	48.0%	47.8%	1.7p	0.2p
売上高販管費率(通期)	29.8%	28.2%	27.4%	2.4p	0.8p
上期(実績)	27.7%	25.3%	25.3%	2.4p	-
下期(予想)	32.3%	31.9%	29.9%	2.4p	2.0p

国内ユニクロ事業の業績予想の前提は、ご覧のとおり修正しております。

下期の既存店売上高伸び率は4月から6月までの売上が好調だった分を加味いたしまして、直近予想の2.3%から9.3%に修正します。

下期の売上高総利益率は、直近予想の48.0%を引き下げ、47.8%へと修正いたします。これは、第4四半期は競合他社のセールなどによる販売環境がいつそう厳しくなることを見込んでいることによります。

下期の売上高販管比率は、直近予想の31.9%を引き下げ、29.9%へと修正いたします。第3四半期において売上が好調だったことにより増加した販管費、約10億円を反映させております。

## 【国内関連事業】通期業績予想を修正

ジーユー事業好調、GOVリテイリングを増額修正

GOVリテイリング ジーユー好調により赤字幅縮小

ジーユー事業 低価格商品を軸に好調な業績が継続する見込み

フットパーク事業 大幅閉店を決定、下期の閉店数は69店舗の予定

ビュー事業 一層のSPA化を推進し、通期での黒字化を目指す

キャビン ほぼ計画通りの見込み

ザジ、アンラシーネの主力ブランドに経営資源集中

単位：億円

		2008年8月期		2009年8月期		2009年8月期	
		通期実績	直近予想 (4/9時点)	前期比	修正予想 (7/9時点)	前期比	直近予想比
国内関連事業	売上高	494	480	3.0%	510	+3.1%	6.3%
	営業損益 (売上比)	28	20	-	15	-	-
		-	-	-	-	-	-

24

国内関連事業の通期業績予想は、売上高510億円、営業損失15億円と修正いたします。

GOVリテイリングの業績予想につきましては、ジーユー事業の業績が引き続き低価格商品を軸に好調に推移することを見込み、増額修正いたします。

フットパーク事業につきましては、すでにご説明したとおり、大幅閉店を決定しております。この下期の閉店数は69店舗の予定です。

なお、ビュー事業につきましては、一層のSPA化を推進し、通期での黒字化を目指します。

キャビンは、引き続きザジ、アンラシーネの主力ブランドに経営資源を集中していく計画です。事業改革を進めており、通期でもほぼ計画通りの業績を見込んでおります。





## 【グローバルブランド事業】通期業績予想を修正

### セオリー事業の業績予想を修正

#### セオリー事業の修正を反映

下期売上高 203 220億円 営業損失 6 7億円  
 業績予想(7/8 発表)修正幅 売上高 10億円 営業利益 1億円  
 百貨店に対する売歩家賃 売上高 +27億円 販管費 +27億円  
 リンク社が保有するのれん償却 販管費 4億円  
 連結のれん償却額16億円(FR取得分12億円 リンク社保有分4億円)  
 コントワー・デ・コトニエとプリンセス タム・タムは修正なし

単位: 億円

		2008年8月期		2009年8月期		2009年8月期	
		通期実績	直近予想 (4/9時点)	前期比	修正予想 (7/9時点)	前期比	直近予想比
グローバルブランド事業	売上高	437	513	+ 17.3%	530	+ 21.1%	+ 3.3%
	営業損益	77	24	69.1%	26	66.5%	+ 8.3%
	(売上比)	17.7%	4.7%	13.0p	4.9%	12.8p	+ 0.2p

セオリー事業の売上高の連結に際し、リンク・セオリー・ホールディングスの売上高の控除項目である 25  
百貨店に対する歩率家賃を売上高に足し戻し、同金額を賃借料として計上しております。

グローバルブランド事業につきましては、リンク・セオリー・ホールディングス社の業績修正などを反映し、売上高で17億円の増額、営業利益で2億円増額いたしております。

内訳はまず、業績予想の修正に伴う影響として、売上高で10億円の減額、営業利益で1億円の減額となります。

また、百貨店に対する売歩家賃27億円を売上高、賃借料にそれぞれ足し戻す修正を行っています。

これに加え、リンク社が従来から個別に保有するのれんについては、その償却額4億円を事業別の販管費から除いております。

コントワー・デ・コトニエ事業、プリンセス タム・タム事業については足元の業績が計画通り推移していることから修正はございません。

その結果、グローバルブランド事業全体の通期予想を売上高530億円、営業利益26億円と修正いたします。

## 2009年8月期 グループ事業別 業績予想

**国内ユニクロ事業** : 増額修正  
**海外ユニクロ事業** : 変更なし  
**国内関連事業** : 増額修正  
**グローバルブランド事業** : 増額修正

単位: 億円

		2008年8月期	2009年8月期		2009年8月期		
		通期実績	直近予想 (4/9時点)	前期比	修正予想 (7/9時点)	前期比	直近予想比
国内ユニクロ事業	売上高	4,623	5,210	+ 12.7%	5,380	+ 16.4%	+ 3.3%
	営業損益	864	1,050	+ 21.5%	1,120	+ 29.6%	+ 6.7%
	(売上比)	18.7%	20.2%	+ 1.5p	20.8%	+ 2.1p	+ 0.6p
海外ユニクロ事業	売上高	293	370	+ 26.1%	370	+ 26.1%	-
	営業損益	3	15	+ 316.7%	15	+ 316.7%	-
	(売上比)	1.2%	4.1%	+ 2.9p	4.1%	+ 2.9p	-
国内関連事業	売上高	494	480	3.0%	510	+ 3.1%	6.3%
	営業損益	28	20	-	15	-	-
	(売上比)	-	-	-	-	-	-
グローバルブランド事業	売上高	437	513	+ 17.3%	530	+ 21.1%	+ 3.3%
	営業損益	77	24	69.1%	26	66.5%	+ 8.3%
	(売上比)	17.7%	4.7%	13.0p	4.9%	12.8p	+ 0.2p

2009年8月期予想: のれん償却額 63億円      2008年8月期実績: のれん償却額 53億円

2009年8月期下期 予想為替レート

1USD= 95.0円 (セオリー事業は98.9円で予想)    1EUR=125.0円    1GBP=140.0円    100KRW=7.5円

26

通期のグループ事業別業績予想はこの頁のとおりです。

海外ユニクロ事業は直近予想からの修正はございません。

## 【配当金】

2009年8月期 年間配当金 160円を予想

	2008年8月期(実績)		2009年8月期(予想)			
		中間	期末	中間 (実績)	期末 (予想)	
1株配当金	130円	65円	65円	160円	75円	85円

業績や資金需要に大きな変動が生じた場合、配当金額を変更することがあります。

最後に、2009年8月期の期末配当は従来予想である一株当たり75円から10円引き上げ、85円といたします。

その結果、2009年8月期の通期での配当金は中間配当の75円を合わせ、160円となる見込みです。

なお、ご参考として、

・出退店の一覧

を添付いたしておりますのでご参照ください。

以上を持ちまして、私からのご説明とさせていただきます。

ありがとうございました。

# 連結対象会社別出退店 実績・予想

【単位：店舗】	08年8月 実績 期末	2009年8月期							
		3Q実績(2009/5末)				通期 予想(2009/8末)			
		出店	退店	純増減	期末	出店	退店	純増減	期末
<b>ユニクロ事業合計</b>	<b>813</b>	<b>76</b>	<b>34</b>	<b>+42</b>	<b>855</b>	<b>99</b>	<b>46</b>	<b>+53</b>	<b>866</b>
国内ユニクロ事業:	759	51	33	+18	777	60	44	+16	775
直営店	740	50	33	+17	757	59	44	+15	755
大型店	50	20	0	+20	70	21	0	+21	71
標準店等	678	30	33	3	675	38	33	+5	683
専門店	12	0	0	0	12	0	11	-11	1
FC	19	1	0	+1	20	1	0	+1	20
海外ユニクロ事業:	54	25	1	+24	78	39	2	+37	91
中国(除く香港)	13	10	0	+10	23	20	1	+19	32
香港	8	3	0	+3	11	3	0	+3	11
韓国	18	9	0	+9	27	12	0	+12	30
シンガポール	0	1	0	1	1	2	0	+2	2
英国	13	2	1	+1	14	2	1	+1	14
米国	1	0	0	0	1	0	0	0	1
フランス	1	0	0	0	1	0	0	0	1
<b>キャビン</b>	<b>190</b>	<b>41</b>	<b>19</b>	<b>+22</b>	<b>212</b>	<b>41</b>	<b>25</b>	<b>+16</b>	<b>206</b>
<b>GOVリテイリング</b>	<b>457</b>	<b>30</b>	<b>102</b>	<b>72</b>	<b>385</b>	<b>30</b>	<b>137</b>	<b>107</b>	<b>350</b>
ジーユー事業	58	23	8	+15	73	23	9	+14	72
フットパーク事業	294	4	78	74	220	4	107	103	191
ビュー事業	105	3	16	13	92	3	21	18	87
リンク・セオリー・ホールディングス	-	6	8	2	230	8	18	10	222
コントワー・デ・コトニ事業	348	23	6	+17	365	28	7	+21	369
プリンセス・タム・タム事業	150	17	0	+17	167	17	1	+16	166
<b>総合計</b>	<b>1,958</b>	<b>193</b>	<b>169</b>	<b>24</b>	<b>2,214</b>	<b>223</b>	<b>234</b>	<b>11</b>	<b>2,179</b>